

# すすめ!たかわん

発行日 : 2014年3月15日  
 発行番号 : 12  
 発行者 : NPO法人みたか都市観光協会  
 お問い合わせ : 0422-40-5525  
 URL : <http://taka-1.mall.mitaka.ne.jp/>

## 新しいことへのチャレンジ



▲関口十一畳店の関口さん。

関口さんのお父さんにあたる先代のご主人は、「畳作りの名人」だったそうです。ベテランの関口さんでも、技術ではお父さんにはかなわない、と言います。でも、「センスのある職人の才能を見抜いて育てる」ことに関しては、お父さんよりも勝っている自信があるそうです。お父さんの技を自分の頭に徹底的に叩き込み、自分の手足となってくれるセンスのある職人を見出し、育て、伝えて継承していくのです。

また、関口さんは、納品のときに、お客様の立場に立って、畳の基礎知識を持たない人にも分かりやすく詳しい説明をします。例えば、畳には、納品したばかりの時には具合が悪いように思われても、時間の経過とともに最適の状態になる、という部分があり、それを知らないとクレームとなってしまうことがあります。名人と言われる職人は、製品そのものに自信があるだけに説明の部分が簡単になってしまうことがあります。ここを、行き届いた説明で補うことで、結果としてお客様の高い満足度につながるのです。優れた仕事をしていくには、自分の位置を把握し、自分の弱点を知り、それを逆に強みに変えていく発想が大切なのだそうです。

また、関口さんは「チャレンジ」を大切にしています。伝統的な職人技に加えて、新しい技術を取り入れていかなくてはお客様のニーズに十分に答えていけません。例えば、まだ新素材の畳がそれほど一般的でなかった三十年前から興味をもって取り組んでいたことで、現在、新

素材を使った特殊な注文も受けることができました。新しいことにチャレンジして新技術を獲得することで、一步前に出ることができるのだそうです。

そして、チャレンジ精神を伸ばすために「自由にさせること」も大切にしています。関口さんが様々なアイデアをだし、ベテランの職人さんや後を継いでいる二人の息子さんをはじめとする若い人たちが自由にチャレンジして形にしていくのだそうです。ベテランの職人さんは、新しいものに取り組むときは最初の抵抗が大きいかも、仕上がったものはやはり出来が優れています。若い職人は最初に出来上がったものがそこそこでも、柔軟に工夫を重ねていくことに長けています。

関口十一畳店の店先には、和柄のポーチやペンケースなどが並んでいて目を引きます。なんとこれは畳の縁に使う生地を使用したアイデア商品。他では手に入らないユニークなもので、外国へのおみやげとしても好評だそうです。こんなところにも関口さんのチャレンジ精神が伺えます。



▲関口十一畳店。三鷹通りに面しています。店先には、畳と一緒に、畳の縁でできたユニークな小物が並んでいます。

関口十一畳店  
 〒181-0012 三鷹市上連雀 2-2-6  
 電話 : 0422-43-7247

インタビューをとおして、「自分の弱点を強みに変えていく」という発想を教えてくださいました。どんな仕事をするときにも役立つ心構えだと思います。ありがとうございました。(わんこ)



太宰のロゴに合わせたものを選びました。「このコースターは、関口十一畳店が作ったオリジナルの商品で、三鷹でしか手に入れることのできないものなので自信を持っています。海外の方のお土産としても人気があります。」と関口さん。

## TAKA-1 に選ばれて変わったことはなんですか？

太宰治コースターをきっかけとして、別のオリジナル商品を PR することができています。また、イベントなどのおみやげとして使っただけが増えました。

## 安心の畳選び

関口十一畳店では、ここ 2~3 年で、天然のイ草ではなく、樹脂などを原料とする新素材の畳を扱うことが多くなりました。新素材の畳表は、色が変わりにくく、掃除が楽です。ダニ・カビも発生しません。だから、アレルギー体質の方や、飲食店、旅館など、人の集まる場所に適しているのです。

でもやはり一番のおすすめは、有機農法栽培の天然のイ草を使用した畳です。関口十一畳店では、契約農家熊本県八代市の上原誠さんが作った、こだわりの畳表を扱っています。上原さんは、熊本県より「エコファーマー」に認定されています。関口さんはこの上原さんの元を年に数回訪れ、栽培の様子を自分の目で確かめ、互いの信頼関係を築いてきました。畳は直接肌に触れるものなので、このような顔の見える生産者が栽培した、より安全・安心な完全無農薬・減農薬の畳が、やはりおすすめのことです。

TAKA-1 (タカワン) は、市内の魅力的な商品を TAKA-1 として認定することで、多くの人たちにその良さを知ってもらい、三鷹市を代表するブランドとして育てていこう！そんな思いで始めた事業です。NPO法人みたか都市観光協会、(株)まちづくり三鷹、三鷹商工会をはじめ、市内の様々な団体が協力して実施しています。現在「おみやげ部門」として、19 商品が認定されています。この情報紙「すすめ!たかわん」では、毎回1つずつ、認定品の魅力や、作っている方々の熱い思いを、みなさんにお伝えしてまいります。

## 関口十一畳店 太宰治コースター

「太宰治コースター」とは？  
 ~「関口十一畳店」の関口さんへ聞く~



太宰治コースター 各350円(税込)

## 太宰治コースター製作秘話

太宰治コースターを作成したのは、三鷹にゆかりのある作家、太宰治が 2009 年に生誕 100 周年を迎えるにあたり、三鷹市より「地域ブランド創出事業補助金」を使って太宰治のロゴを入れた商品開発をしないかと誘われたのがきっかけです。関口十一畳店では、何か「畳」を使ったものを作ろうと考えたそうです。

最初は畳おもてに太宰治の家紋を入れた商品を作ろうとしました。しかし、コストが高くなり、販売価格が高くなってしまったため、需要が少ないのではないかと考え、諦めることとなりました。その際にたまたま、ある方より、イ草を使用したコースターを作ったことがあるというお話を聞き、太宰治のロゴを使用したイ草コースターを作成しようと考えました。畳の良さを感じてもらうためにはイ草をそのまま使う方がよいのですが、イ草は吸水性がよく、水分がしみ込んで跡が残ってしまいます。そこでイ草らしさや香りは多少犠牲になりますが、撥水加工をすることにしました。

太宰治のロゴを入れるには、刺繍と印刷という方法があります。迷いましたが、刺繍は手間がかかり、コストが高くなってしまいますので、手頃な価格でより多くの方に提供したいという思いから印刷を選びました。太宰治コースターの縁は、